

喜界町

図書館だより

5月号



【 通算 第239号 】
2016（平成28）年5月1日発行

〒891-6201
喜界町大字赤連字樋口前30番地
TEL：0997-65-0962
FAX：0997-65-2523
e-mail:kikailib@town.kikai.lg.jp

ブックスタート
図書館からの
プレゼント！
（コットンバッグ・絵本）



赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくり
心ふれあうひとときを持つきっかけづくりの
お手伝い。
★受け取りは0歳児のみ。 図書館にて随時受付。

== 読書マラソン入賞者表彰

100冊以上読破は71人 ==

風薫るさわやかな季節となりました。図書館の周りにはチョウチョが飛び交いアマリリスの花が彩っています。

さて、喜界町図書館主催の2015年度読書マラソン100冊以上読破者の表彰を4月8日から入賞者に図書館来館時に随時表彰しています。町民の皆様のご来館をお待ちしています。今回の入賞者は一般39人、中学生1人、小学生16人、幼児15人、計71人が100冊以上読破しました。入賞者全員に表彰状と粗品を贈呈、また、各上位5人には、賞状と図書カード、記念品などが贈られています。

「生活の中に図書館を！普段から楽しんで読書に親しんで欲しい。」という趣旨のもとで実施した読書マラソンは、登録者全員がエントリー。昨年4月1日から今年3月31日までの1年間の貸出冊数を集計した結果、一般の1位が469冊、小中学生が378冊、幼児が381冊でした。その結果、図書館の総貸出冊数が昨年よりも大幅に増えています。町民の読書に対する興味関心が年々増えてきたことが考えられます。これからも利用者が読みたい本、調べたい本など町民のリクエストに応えながら今後も図書館の充実を図っていききたいと思います。多くの皆様のご利用をお待ちしています。

※ 2016・第58回「こども読書週間」は4/23～5/12まで。標語は「四角い本に まあるい心」です。

「子ども読書週間」は、子どもたちに、良い本や良い雑誌に親しむことをすすめる、読書の楽しみや喜びを知らせ、正しい読書の習慣を身につけさせる好機です。そして同時に、大人にとっては、子どもの読書がいかに大切なことか、良い本や雑誌を与えるためにはどのような努力をしたらよいか、ということについて考える機会でもあるといえましょう。

※ 《喜界島の民話》==「ガワローに肝を抜かれたシューター」のお話 ==（最終回）

土手に運ばれたシューターは、すでに死んでいた。そして、お尻からは、真っ赤な血が流れていた。人々はシューターは、水の中にひそんでいたガワローに引きずり込まれ、お尻からきも（肝臓）を抜き取られたんだなあ、と思った。昔の人々は、ガワローは人間のきもが好物で、お尻からあの伸縮自在でしなやかな手をつき込み、きもを取り出して食べると信じていた。戸板にのせられて、自宅へ向かうシューターのお尻からは、血がポタポタと土の上に落ちていたという。

【引用文献資料】：『志戸桶誌』（志戸桶誌編纂委員会）、『広辞苑』（岩波書店）（文責：登山 典壽）

お知らせ



本は早目に返却をしましょう！

募集中！

読み聞かせのボランティアを募集しています。興味のある方は、図書館まで連絡を下さい。

平成28年度読書マラソン開始

期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

対象者：貸出カードを持っている方全員参加とします。

特典

100冊ごとに特製「愛読書リストノート」を差しあげます。

100冊以上読んだ方……11冊

200冊以上読んだ方……12冊

300冊以上読んだ方……13冊借りられます

「100冊読破」の方は賞状と粗品贈呈

上位5位までは賞状と図書カードと粗品贈呈



2016年 イベントダービー！

（対象者：幼児・小学1年・小学2年）

・おはなし会・イベントに参加した子どもにスタンプをおします。

・スタンプ 10こ……11冊 20こ……12冊かいられます。

・スタンプ30こで、手づくりえほんがもらえるよ ♪



2016年度 本屋大賞は、

『羊と銅の森』

宮下奈都作 文藝春秋

2016本屋大賞/ミネート作品も図書館にあります。

ぜひ、読んでください！

『朝が来る』 辻村深月

『王とサーカス』 米澤穂信

『君の臓腑を食べたい』 佳野よる

『教団X』 中村文則

『世界の果てのこどもたち』 中脇初枝

『戦場のコックたち』 深緑野分

『永い言い訳』 西川美和

『流』 東山彰良

『火花』 又吉直樹

文藝春秋
東京創元社
双葉社
集英社
講談社
東京創元社
文藝春秋
講談社
講談社